

前回からの反映状況（平成 29 年 1 月 31 日 桑名市行政改革推進委員会 「議案：補助金の見直しの方向性について」より）

主な意見	見直しの結果
<p>良くまとまっていると思うが、分析結果は件数のグラフ作成に限られている。金額ベースでも、グラフ化をお願いしたい。</p>	<p>今回、お示しをさせていただき調査・分析結果は、H28. H29 の経年比較や、金額ベースでグラフ化を行い、見直しの視点をより明確にしました。 【別添 補助金に関する調査・分析結果】</p>
<p>少額補助のうち「公益性がない」といった表現はグレーである。 可能であれば「公益性が明確か、明確でないか」といった表現に変更していただきたい。</p> <p>「公益性とは何か」を検証し、示して欲しい。</p>	<p>「財源の多くは税金が使われていること」、「透明性を高めること」、「分析結果」、「他市の事例」から、公益性の定義を定めました。 【別添 方針 P1 「公益性の定義」】 【別添 補助金に関する調査・分析結果 P11】</p>
<p>今回の見直しは「金額ベースでの見直し」と「行政目的の実現」の両方の目的があると思うが、まずは「行政目的の実現」が第一で、「金額ベースの見直し」は二番目になるかと思う。「行政目的は何か?」、「何に効果があるのか?」、是非ともそういった考え方で整理して頂きたい。</p>	<p>方針に基づきゼロベースで見直すこととし、「行政目的の実現」、「金額ベースの見直し」の両方を目的としていきたいと考えている。 ・補助金の総額を減らすこと・・・事業費の1/2補助 ・行政目的を効率的に達成する手段・・・公益性のある団体に補助を行いつつ、支出を行うすべての補助金に対しては終期（少なくとも3年ごとに見直し）を定め、検証を徹底します。</p>
<p>「ポイントをクリアしていないと、公益性がない」といったような、横断的な統一基準を設けるかどうか。</p>	<p>フローチャートを作成し、補助金の交付基準、補助金交付の経過、検証から見直しに至るまで、簡潔にお示しすることとしました。 【別添 方針 P6 「補助金の見直しにおけるフローチャート」】</p>
<p>性質別分類のうち「⑥：法令的義務的補助金」は見直しをする必要がないなど、効率良く見直しを行って欲しい。</p> <p>行政目的・補助金の目的、補助金交付までの流れを明確にして欲しい。例えば鉄道に対する補助などで行政目的を達成したいのであれば、より投資しても良い気がする。</p>	
<p>補助金交付の経過、結果が明確になるような仕組みづくりを整えて欲しい。</p>	

主な意見	見直しの結果
<p>補助金交付規則、交付要綱と照合して交付決定を行うチェックを短期間で実施したいのであれば、一元化してマネジメントを行わないと難しいのではないか。</p>	<p>本委員会後、平成31年度予算編成に向け、財政課にてスピード感を持って取り組みたいと考えています。</p>
<p>行政評価の考え方をもとに、補助金についても、年度ごとに目的を達成したのかどうか評価をして欲しい。 また金額の大きい補助金は情報開示した方が良い。</p>	<p>少なくとも3年ごとに終期を定め、補助金の支出に対して適切な評価・検証を実施することとした。 そこで「自立」、「存続」、「廃止」、「統合」等、適切な見直しを講じたいと考えています。</p>
<p>「終期の設定」とあるが、長期債務負担行為を組み、一括で予算措置として行うのか。終期を設定した場合、5年以上は債務負担行為が必要なため、地方自治法との整合性も検討する必要があるのではないか。</p>	<p>【別添 方針 P3 見直しの視点②】 【別添 補助金に関する調査・分析結果 P7】</p>
<p>補助金が交付された場合、自動的に継続するのが疑問である。期間を設定することは必要ではないか。</p>	
<p>人口増加を図るために行政目的で交付する「不妊治療」の補助金は30年～50年間、交付を続けないと意味がないと感じる。しかし、長期に亘る補助金の交付は、地方自治法上の課題が多い。3年の終期であれば、3年ごとに見直しができれば良いと思う。</p>	
<p>審査も大変であると思うので、こういった手法がより効果的かを検討して欲しい。</p>	<p>500万円以上の補助金のうち、「補助金の見直し方針」に基づく、補助金の見直しができないもの等は、第三者評価を実施し、効果的な見直しを実施したいと考えています。 【別添 方針 P4 見直しの視点④】 【別添 補助金に関する調査・分析結果 P10】</p>

主な意見	見直しの結果
<p>少額補助金であっても、以前は必要性に駆られて担当課が団体を立ち上げて、その事業を実施するために補助金を支給していたものがあるのではないと思われる。しかし、行政のスリム化が行われている現在、「事業が本当に必要か」、「やっている事に対して、何が本当に必要か」を考えなければならない。</p> <p>草の根団体に対しては、相応の評価をしてあげるべきである。すべて必要かどうか、既得権化されている補助金も多くある。少額補助金の見直しも必要であると感じた。</p>	<p>「少額補助金の公益性の確保」から「公益性のない少額補助金の見直し」に変更しました。</p> <p>【別添 方針 P4 見直しの視点⑤】</p> <p>【別添 補助金に関する調査・分析結果 P11】</p>
<p>「事業分類ごとの整理」、「目的が達成されたかのチェック体制・チェック・リストの必要性」、「公益性の概念」を次回の委員会で示して欲しい。</p> <p>補助金・交付金一覧表に、性質別分類Noと補助交付目的が分かるように示して欲しい。</p>	<p>「事業分類ごとの整理」、「補助交付目的」 ⇒補助金の一覧表にてお示しました。</p> <p>【別添 補助金・交付金一覧表】</p> <p>「目的が達成されたかのチェック体制・チェック・リストの必要性」 ⇒終期を設定するとともに、補助金の支出に対して適切な評価・検証を実施することした。そこで「自立」、「存続」、「廃止」、「統合」等、適切な見直しを講じていきたいと考えている。</p> <p>【別添 方針 P3 見直しの視点②】</p> <p>【別添 補助金に関する調査・分析結果 P7】</p> <p>「公益性の概念」 ⇒「財源の多くは税金が使われていること」、「透明性を高めること」、「分析結果」、「他市の事例」から、公益性の定義を定めました。</p> <p>【別添 方針 P1「公益性の定義」】</p> <p>【別添 補助金に関する調査・分析結果 P11】</p>
<p>算定根拠が明確ではない補助金は、カットしなければならない。</p>	<p>算定根拠を明確にするとともに、補助金の公平性・透明性を高めつつ、取り組みを進めていきます。</p>